

- 〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成
- 〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
- 〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成

『残り少ない3学期』

校長 渡辺 敬方

何度経験しても、3学期は早く過ぎていく感じがします。今年度も3月を残すだけとなってしまいました。今年度もコロナやインフルエンザなどを心配しながら進めてきた1年でしたが、もうすぐ卒業式を迎える時期になりました。

児童生徒には、今まで以上に真剣に学習に取り組み、さらには、一生に一度の貴重な宝のような時期を有意義に過ごしてほしいと思います。また、よい意味で自分の殻を打ち破ってほしいとも思いません。今までに無い自分の才能や個性を開花させてほしいと思います。そのためには、「そんなことはできない」「自分にはやれない」等という後ろ向きではなく、「できるかもしれない」「とにかくやってみよう」と思う気持ちが大切です。困難な事を他人や何かのせいにはせず、毎日の地道な努力にチャレンジしてほしいと思います。

この3学期に、受験や毎日の学習など、何かに挑戦し努力を続けるときに、うまくいかなかったりどうしていいかわからなかったりして壁にぶつかることがあると思います。そんな時に、その壁を乗り越えていく勇気を与えてくれる言葉を紹介します。

江戸時代の儒学者の佐藤一斎の言葉です。

「一燈を提げて暗夜をゆく。暗夜を憂う事なかれ、ただ一燈を頼め」この言葉の意味は、「一つの灯りを提げて暗い夜道を行くとき、暗夜を嘆いても暗夜そのものを変えることはできない。我々にできるのは、自分が手にしている灯りを頼りにして、ひたすら前に進むことだけだ」と言うことです。

世の中、すぐにうまくいくことの方が少ないと思います。何かを成し遂げようとするには困難がつきものです。そんな時でも、困難な状況を嘆いていても仕方ありません。自分を信じて、自分の方法で努力を続けることが大切です。そのことが困難な状況を打ち破り、目的を達成できる道なのです。残りの少ない令和5年度を充実させ次につなげてほしいと思います。

また、年度末をむかえ、大変ご多忙な時期と拝察いたします。令和6年度がスムーズに、そしてより充実した学校生活となりますよう、一層のご理解とご協力をお願いいたします。



佐藤一斎

いろいろな行事を行いました

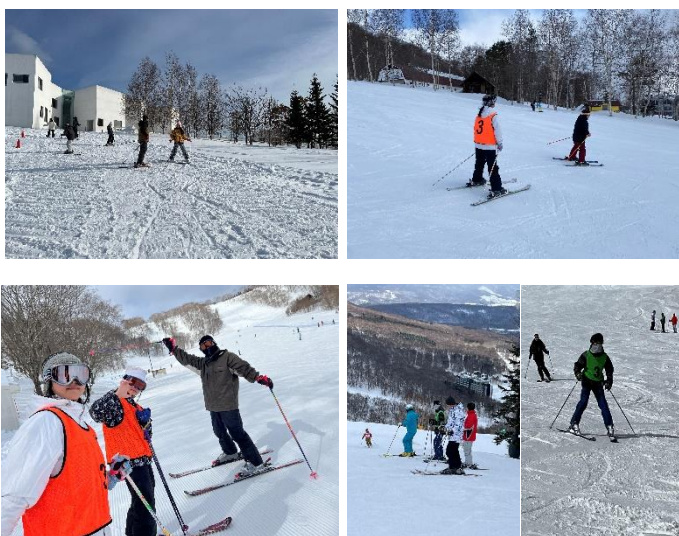
小学校は、2月にいろいろな行事がありました。2日は、節分の行事として全学年で恵方巻き作りをしました。9日は、冬の野外活動で室蘭ダンパラスキー場でスノーシュー体験を行い、14日には、餅つき会で餅を美味しく食べました。21日は「きつつきの会」の読み聞かせ会が行われました。



スキー学習に行ってきました

中学校では、2月16日（金）と22日（金）にルスツスキー場でスキー学習を行いました。16日は、曇り空でしたが、気温もそれほど低くなく穏やかな中、楽しみながら滑ることができました。また、22日も曇で気温が低かったのですが、どの生徒も楽しくたくさん滑ることができました。

今年度は、スキー連盟のインストラクターの方々の協力をいただき、経験の浅い生徒は、安全に楽しく滑る技術を、経験のある生徒は、高度な技術を教えてもらい、それぞれが満足できる学習となりました。



中学校授業体験

2月から3月の初めにかけて、6年生が中学校の授業体験を行っています。卒業を間近に控え、中学校進学への不安を少しでもなくし、意欲をもって進学できるように中学校の先生の授業を実際に受け、小学校との授業の違いを体験します。2月15日

（木）のオリエンテーションから始まり、数学や家庭科、作業学習の授業を体験しています。中学校のことを知っているようで知らないことが多くあると感じていい経験になると思います。4月からの中学校生活に向けて準備していきます。



3月行事予定

- 1日（金）児童生徒会
教育課程検討委員会
行事調整委員会 定時退勤日
- 4日（月）小中部会
- 5日（火）公立高校入試
実務者会議
- 7日（木）卒業式総練習
卒業生を送る会
児童生徒会
- 8日（金）卒業式前日準備
定例校長会
- 9日（土）第18回卒業証書授与式
- 11日（月）振替休業日
- 12日（火）授業公開週間（19日まで）
小中部会
- 13日（水）公立高校入試追検査日
- 14日（木）学校運営協議会
- 15日（金）校務部会
定時退勤日
- 18日（月）公立高校合格発表
小中部会
- 20日（水）春分の日
- 21日（木）大掃除
定例教頭会
- 22日（金）修了式 離任式
職員会議
個別の指導計画交流
- 25日（月）児童心理施設入所生徒支援連絡協議会

第18回卒業証書授与式

3月9日（土）：10時～

3月9日（土）に18回目の星の丘小中学校卒業式が行われます。

今年度は、小学生6名、中学生5名の11名が、卒業します。ここで過ごした日々が、次のステップで自分らしさを発揮する糧となることを感じられるような卒業式にしたいと思っています。